

役務―第6号様式 役務契約約款（令和7年3月1日施行）

（総則）

- 第1条 委託者及び受託者は、この約款（契約書を含む。以下同じ。）に基づき、仕様書（設計図、見本等を含む。以下同じ。）に従い、この契約（この約款及び仕様書を内容とする役務契約をいう。以下同じ。）の履行にあたって適用される法令を遵守し、これを履行しなければならない。
- 2 受託者は、役務（この契約に基づき履行する役務をいう。以下同じ。）を、この契約の履行期間内において履行するものとし、委託者は、履行が完了した役務に対し、契約金額を支払うものとする。
- 3 この契約の履行に関して委託者と受託者との間で用いる言語は、日本語とする。
- 4 この約款に定める金銭の支払いに用いる通貨は、日本円とする。
- 5 この契約は、日本国の法令に準拠するものとする。
- 6 この約款に定める承諾、通知（第9条第2項を除く。）、請求、指示、催告、表示及び解除は、原則として書面にて行わなければならない。

（秘密の保持）

- 第2条 受託者は、役務の遂行上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

（契約保証金）

- 第3条 受託者は、この契約の締結と同時に契約保証金を納付しなければならない。ただし、委託者が、札幌市契約規則（平成4年規則第9号）第25条の規定に基づき契約保証金の納付を免除した場合は、この限りでない。
- 2 前項の契約保証金の額は、契約金額の100分の10以上としなければならない。

（権利義務の譲渡等の禁止）

- 第4条 受託者は、この契約によって生ずる権利若しくは義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、あらかじめ委託者の承諾を得た場合はこの限りではない。

（再委託の禁止）

- 第5条 受託者は、役務の全部若しくは一部を第三者に委託してはならない。ただし、役務の一部であって、役務の性質上特に委託者がやむを得ないと認めた場合は、この限りではない。
- 2 受託者は、前項ただし書の規定により役務の一部を第三者に委託しようとするときは、あらかじめ、委託者の承諾を得なければならない。
- 3 委託者は、前項の承諾にあたり、受託者に対して、受託者が第1項の規定ただし書の規定により役務の一部を委託する第三者の商号又は名称、住所、委託する役務の範囲、その他必要な事項の通知を求めることができる。
- 4 受託者は、第1項及び第2項の規定により役務の一部を第三者に委託した場合、委託者に対し、当該委託に基づく当該第三者の受託に係る全ての行為について責任を負うものとする。

（監督等）

- 第6条 委託者は、適正な役務の遂行を図るため、受託者に対して常に状況に応じた監督を行い、この契約の履行を確保するものとする。
- 2 受託者は、前項の規定による委託者の監督を受け、委託者から役務改善命令等がなされた場合には、その補正等の措置をしなければならない。

（委託者に対する損害賠償）

- 第7条 受託者は、役務の遂行上において、受託者の責めに帰すべき事由により委託者に損害を与えた場合には、第13条の2の規定に基づき損害を賠償する場合を除き、委託者の定めるところにより、その一切の損害を賠償しなければならない。

（第三者に対する損害賠償）

- 第8条 受託者は、役務の遂行上において、受託者の責めに帰すべき事由により第三者に損害を与えた場合には、その一切の損害を賠償しなければならない。

役務―第6号様式 役務契約約款（令和7年3月1日施行）

（検査等）

第9条 受託者は、役務を完了したときは、遅滞なくその旨を委託者に通知しなければならない。

2 委託者は、前項の規定による通知を受けたときは、その日から起算して10日以内（以下「検査期間」という。）に受託者の立会のもとに役務内容の検査（以下「完了検査」という。）を行い、その結果を受託者に通知するものとする。

3 受託者は、完了検査に合格しないときは、委託者の指示する期間内にこれを補正しなければならない。この場合の補正の完了の通知及び検査については、前2項の規定を準用する。

（契約金額の支払）

第10条 受託者は、完了検査に合格したときは、契約金額の支払を請求することができる。

2 委託者は、前項の規定による請求があったときは、請求を受けた日から30日以内（以下「約定期間」という。）に前項の契約金額を支払わなければならない。

3 委託者がその責めに帰すべき事由により検査期間内に完了検査をしないときは、その期限を経過した日から完了検査の結果を通知した日までの期間の日数は、約定期間の日数から差し引くものとする。この場合において、その差し引く日数が約定期間の日数を超えるときは、約定期間は、その超えた日において満了したものとみなす。

4 委託者は、この契約の履行に際して、一部履行しない役務がある場合には、第1項の契約金額から当該履行しない割合に相当する金額を減額することができる。

5 委託者は、受託者が委託者に損害を与えたときには、委託者と受託者との協議成立までの間、第1項の契約金額の支払を保留することができる。

（履行遅延の場合における違約金等）

第11条 受託者の責めに帰すべき事由により履行期間内に役務を完了することができない場合においては、委託者は、違約金の支払を受託者に請求することができる。

2 前項の違約金の額は、契約金額につき、履行期間満了日の翌日から完了検査（第9条第3項で準用する場合を含む。）に合格した日までの日数に応じ、契約締結の日において適用される政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項の規定に基づき政府契約の支払遅延に対する遅延利息の率（昭和24年12月大蔵省告示第991号）において定める割合（以下「違約金算定率」という。）で計算した額（100円未満の端数があるとき、又は100円未満であるときは、その端数額又はその全額を切り捨てる。）とする。ただし、遅延日数は、当該完了検査に要した日数を除くものとする。

3 契約により期日を定めて分割履行する場合は、第1項の違約金は、その分割量に応ずる契約金額を基準とする。ただし、全部の履行がなされなければ契約の目的が達せられないときは、この限りでない。

4 受託者は、天災その他の受託者の責めに帰することができない事由により履行期間内に役務の履行ができないときは、委託者と協議のうえ、履行期間の延長を行うことができる。ただし、役務の性質上、特定の日時又は一定の期間内に履行しなければ契約をした目的を達することができない場合においては、この限りでない。

5 委託者の責めに帰すべき事由により、前条第2項の規定による契約金額の支払が遅れた場合において、受託者は、未受領金額につき、遅延日数に応じ、違約金算定率で計算した額の遅延利息の支払を委託者に請求することができる。

（談合行為に対する措置）

第12条 受託者は、この契約に係る入札に関して、次の各号の一に該当したときは、契約金額の10分の2に相当する額を委託者に支払わなければならない。この契約による役務が完了した後においても、同様とする。

(1) 公正取引委員会が、受託者に違反行為があったとして私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第49条に

役務―第6号様式 役務契約約款（令和7年3月1日施行）

規定する排除措置命令（排除措置命令がされなかった場合にあっては、同法第62条第1項に規定する納付命令）が確定したとき。

- (2) 受託者又は受託者の役員若しくは使用人が刑法（明治40年法律第45号）第96条の6の規定に該当し、刑が確定（執行猶予の場合を含む。）したとき。
- (3) 前2号に規定するもののほか、受託者又は受託者の役員若しくは使用人が独占禁止法又は刑法第96条の6の規定に該当する違法な行為をしたことが明らかになったとき。

2 前項に規定する場合においては、委託者は、契約を解除することができる。

3 前2項の規定は、委託者の受託者に対する損害賠償請求を妨げるものではない。
（契約の解除等）

第13条 委託者は受託者が次の各号のいずれかに該当するときは、相当の期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履行がないときは、この契約を解除することができる。ただし、その期間を経過したときにおいて、当該不履行が、この契約及び取引上の社会通念に照らして軽微であるときは、この限りでない。

- (1) 履行期間内に役務の全部又は一部を履行しないとき。
- (2) 第9条第3項の規定に基づき、委託者が指示した期間内に補正しないとき。
- (3) 前各号に掲げる場合のほか、この契約に違反しているとき。

2 委託者は、受託者が次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに契約の解除をすることができる。

- (1) 役務が履行不能であるとき。
- (2) 役務の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。
- (3) 役務の一部の履行が不能である場合又は役務の一部の履行を拒絶する意思を明確に表示した場合において、残存する履行済み部分のみでは契約の目的を達することができないとき。
- (4) 役務の性質や当事者の意思表示により、特定の日時又は一定の期間内に履行しなければ契約をした目的を達することができない場合において、受託者が履行をしないでその期間を経過したとき。
- (5) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項及び第2項の規定により一般競争入札に参加することができなくなったとき。
- (6) この契約の締結若しくは履行又は入札に関し、不法の行為又は札幌市契約規則に違反する行為をしたとき。
- (7) 第4条の規定に違反し、委託者の承諾を得ずにこの契約から生じる債権を譲渡したとき。
- (8) 受託者が次のいずれかに該当するとき。

イ 役員等（受託者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、受託者が法人である場合にはその役員、その支店又は営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者その他経営に実質的に関与している者を、受託者が団体である場合は代表者、理事その他経営に実質的に関与している者をいう。以下この号において同じ。）が、暴力団（札幌市暴力団の排除の推進に関する条例（平成25年条例第6号）第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下この号において同じ。）又は暴力団員（札幌市暴力団の排除の推進に関する条例第2条第2号に規定する暴力団員をいう。以下この号において同じ。）であると認められるとき。

ロ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていると認められるとき。

ハ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

役務―第6号様式 役務契約約款（令和7年3月1日施行）

- ニ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしていると認められるとき。
 - ホ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
 - ヘ 再委託契約、資材の購入契約その他この契約に関連する契約（トにおいて「関連契約」という。）の相手方がイからホまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。
 - ト 受託者が、イからホのいずれかに該当する者を関連契約の相手方としていた場合（ヘに該当する場合を除く。）に、委託者が受託者に対して当該契約の解除を求めたにもかかわらず、受託者がこれに応じなかったとき。
 - チ 暴力団又は暴力団員に、この契約から生じる債権を譲渡したことが判明したとき。
- (9) 前各号に掲げる場合のほか、委託者が前項の催告をしても、契約の目的を達するのに足りる履行がなされる見込みがないことが明らかであるとき、又は契約を継続し難い重大な事由があると認められるとき。
- 3 委託者は、第1項又は前項（第8号を除く。）の規定により契約を解除した場合において、受託者が既に完了した部分の役務において提供を受ける必要があると認めたときは、当該完了部分の完了検査を行い、当該検査に合格した役務の提供を受けることができる。この場合、委託者は、当該提供を受けた役務の完了部分に相当する契約金額を受託者に支払わなければならない。
- 4 受託者は、第1項又は第2項の規定により契約を解除された場合に受託者に損害が生ずることがあっても、委託者に対してその損害の賠償を求めることができない。
- 5 第1項各号又は第2項各号（第8号を除く。）に定める場合が、委託者の責めに帰すべき事由によるものであるときは、委託者は、第1項又は第2項の規定による契約の解除をすることができない。
- （契約が解除された場合等の賠償金）
- 第13条の2 次の各号のいずれかに該当する場合においては、委託者は、契約金額の100分の10に相当する金額（委託者に生じた実際の損害額が当該金額を超過する場合は、当該損害額）を賠償金として請求することができる。
- (1) 前条第1項又は第2項の規定によりこの契約が解除された場合
 - (2) 受託者がその債務の履行を拒否し、又は、受託者の責めに帰すべき事由によって受託者の債務について履行不能となった場合
- 2 次の各号に掲げる者がこの契約を解除した場合は、前項第2号に該当する場合とみなす。
- (1) 受託者について破産手続開始の決定があった場合において、破産法（平成16年法律第75号）の規定により選任された破産管財人
 - (2) 受託者について更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定により選任された管財人
 - (3) 受託者について再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法（平成11年法律第225号）の規定により選任された再生債務者等
- 3 第1項の場合において、第3条の規定により契約保証金が納付されているときは、委託者は、当該契約保証金をもって第1項の賠償金に充当することができる。
- （契約解除に伴う措置）
- 第13条の3 受託者は、第13条の規定に基づきこの契約が解除された場合において、貸与品、支給材料等（使用済み部分を除く。以下同じ。）があるときは、遅滞なくこれらを委託者に返還しなければならない。この場合において、当該貸与品、支給材料等が受託者の故意又は過失により滅失又はき損したときは、代品を納め、若しくは原状に復して返還し、又はこれらに代えてその損害を賠償しなければならない。
- 2 受託者は、第13条の規定に基づきこの契約が解除された場合において、委託者が所有

役務－第6号様式 役務契約約款（令和7年3月1日施行）

又は管理する履行場所（以下「履行場所」という。）に受託者が所有する器具、材料その他の物品があるときは、遅滞なく当該物品等を撤去（委託者に返還する貸与品、支給材料等については、委託者の指定する場所へ搬出。以下同じ。）するとともに、履行場所を原状に復して委託者へ明け渡さなければならない。

- 3 前項の場合において、受託者が正当な理由なく、相当の期間内に当該物件を撤去せず、又は履行場所の原状回復を行わないときは、委託者は、受託者に代わって当該物品等を処分し、履行場所の原状回復を行うことができる。この場合において、受託者は、委託者の処分又は原状回復について異議を申し出ることはできず、また、委託者が処分又は原状回復に要した費用を負担しなければならない。

- 4 第1項及び第2項に規定する受託者が行う原状回復等の期限及び方法については、委託者が指示するものとする。

（契約保証金の返還）

第14条 委託者は、受託者が履行期間中の全ての役務を完了し、完了検査に合格したときは、契約保証金を返還しなければならない。

（裁判管轄）

第15条 この契約に関する訴訟は、委託者の所在地を管轄する裁判所に提訴する。

（その他）

第16条 受託者は、この約款に定めるもののほか、札幌市契約規則及び労働基準法（昭和22年法律第49号）、最低賃金法（昭和34年法律第137号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）その他の労働及び社会保険に関する法令を遵守するものとする。

- 2 受託者は、委託者から、業務従事者の賃金支給状況、社会保険加入状況その他労働契約状況が確認できる書類の提出を求められたときは、これに応じなければならない。

- 3 この約款に定めのない事項及びこの契約に疑義が生じたときは、委託者と受託者とが協議のうえ定めるものとする。

仕 様 書

1 業務名

札幌コンベンションセンター量水器交換取付業務

2 業務場所

施設名:札幌コンベンションセンター

住 所:札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

3 履行期限

契約書に示す着手の日から令和9年3月19日まで

ただし、各メーターの交換・調整は別紙に示す期限が切れる前に行うこと。

4 業務内容および取替対象機器

- 1) 同施設に設置されている別紙の水道メーター17台及び温水メーター8台およびカウンタ(付属品含む)3台を撤去し、新品(基準適合証印が付されていること)への取替及び調整作業を行う。なお、取替部品については既設の製品と同等品を使用する。その費用は受託者の負担とする。

量水器	水道用	25A	3台
	水道用	30A	3台
	水道用	40A	9台
	温水用	20A	3台
	温水用	25A	2台
	温水用	30A	1台
	温水用	40A	2台
	井水用	75A	1台
	雑用水用	50A	1台
	計		25台

カウンタ

計 3台

詳細は別紙1による。

- 2) 新設する量水器及びカウンタについては、別紙1に示す仕様・型式によるものと同
等品を使用する場合は、事前に担当課及び当該施設の指定管理者との協議を行い、
既設設備との適合について事前に説明をすること。中央監視装置のプリセット作業
を行うが、その際は中央監視装置のメーカーと十分に打合せをしたうえで、作業を
行なうこと。
- 3) 撤去した部品等については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、業務受
託者の責任において適正な処理を行うこと。
- 4) 交換後は清掃・後片付けを確実に実施すること。
- 5) メーターの取付けの際、メーターの上面及び側面に示してある流入方向の矢印に注
意し、正しく取り付けること。
- 6) メーターの取付けの際、パッキンのよじれやユニオンの締め付け不良等による漏水

がないよう特に注意すること。

7) 軽微な補修(断熱材補修、塗装のはがれ補修等)があれば、受託者の負担により実施すること。

5 交換対象および数量

1) 別紙1のとおり

6 作業時間

1) 受託者は、作業の実施時間帯及び作業工程について、担当課及び施設管理者と十分に打ち合わせの上、施設支障や来館者等の妨げにならないよう実施すること。

2) 施設内に入出場する場合は事前に施設管理者と打ち合わせを行い、必要な手続きを行うこと。

7 提出書類

項番	提出書類	部数	提出時期	備考
1	業務着手届	2	着手後速やかに	
	業務責任者及び作業員名簿			
	業務責任者経歴書			
	連絡体制表			
2	実施工程表	1	随時	施設管理者と調整のうえ作成すること
3	作業日報	1	随時	
4	業務完了届	2	完了時	
5	業務報告書・作業写真 電子データ	1	完了時	完成図、関係図書類、取扱説明書等を含む
6	・収集運搬の委託契約書の写し ・産業廃棄物収集運搬業の許可証の写し ・処分の委託契約書の写し ・産業廃棄物処分業の許可証の写し ・マニフェストの写し(E票) ・計量伝票の写し	1	完了時	
7	その他関係書類	1	完了時	

※業務報告書の記載必要事項は次のとおり。

①作業実施日

- ②交換品一覧表(メーカー名・種類・製造年・有効期限・その他)
- ③交換状況がわかる写真および交換品が基準適合品であることを示す写真
(メーターの交換前の指針及び交換後の指針がわかるように撮影すること)

8 安全の確保

業務実施にあたっては、従事者の事故防止に十分注意するとともに、従事者の事故に対する一切の責任を負うこと。

9 環境負荷の低減

受託者は、作業従事者へ本市の「環境方針」(下記URL参照)を周知し、本市の環境配慮に対する取り組みについて理解させること。

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/documents/kankyo_houshin.pdf

10 その他

- 1) 受託者は、業務を実施するにあたり、関係法規及び諸法令を遵守し、業務の円滑な進捗を図ること。
- 2) 受託者は、業務の遂行にあたって、不注意により生じた破損及び事故等は一切受託者において責任をもって処理すること。
- 3) 関係法令に基づき有資格者による作業が必要となる行程・作業が発生する場合は、必ず該当する有資格者を従事させること。
- 4) 地下ピット内および高所作業箇所においては、関係法規及び諸法令に基づき、必要な安全対策措置を講じること。
- 5) 本業務の実施に必要な機器、工具及び消耗品類は受託者の負担とする。
- 6) 業務の遂行にあたって、疑義が生じた場合は、担当職員と打ち合わせのうえ遺漏のないよう遂行すること。
- 7) 本仕様書に定めのない事項については、双方協議のうえ決定する。

札幌市経済観光局観光・MICE推進部MICE施設整備担当課 担当:今野・松田
札幌市中央区北1条西2丁目 15階
TEL:011-211-2376 FAX:011-211-5129

《更新対象量水器及びカウンター一覧》

No.	設置箇所	経口	既存量水器 型式	既存パルス カウンター 型番	パルスレート	用途	中央監視 表示	有効期限	備考
1	会議棟1Fレストラン横エレベータ裏パイプシャフト内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.1	レストラン・厨房用
2	会議棟1Fレストラン横エレベータ裏パイプシャフト内	40	FPHDY40V		1m3/P	温水(往)	○	2026.12	レストラン・厨房用(往)
3	会議棟1Fレストラン横エレベータ裏パイプシャフト内	25	FPHD25V		1m3/P	温水(還)	○	2027.1	レストラン・厨房用(還)
4	会議棟1Fパントリー前通路パイプシャフト内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	会議棟1Fパントリー
5	会議棟1Fパントリー前通路パイプシャフト内	40	FPHDY40V		1m3/P	温水(往)	○	2027.2	会議棟1Fパントリー(往)
6	会議棟1Fパントリー前通路パイプシャフト内	20	FPHD20V		1m3/P	温水(還)	○	2027.2	会議棟1Fパントリー(還)
7	会議棟1Fパントリー前通路パイプシャフト内	30	FMDS30-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	会議棟2Fパントリー
8	会議棟1Fパントリー前通路パイプシャフト内	30	FPHDY30V		1m3/P	温水(往)	○	2027.2	会議棟2Fパントリー(往)
9	会議棟1Fパントリー前通路パイプシャフト内	20	FPHD20V		1m3/P	温水(還)	○	2027.2	会議棟2Fパントリー(還)
10	特別会議棟パントリー地下ピット内	30	FMDS30-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	特別会議棟パントリー
11	特別会議棟パントリー地下ピット内	25	FPHD25V		1m3/P	温水(往)	○	2027.2	特別会議棟パントリー(往)
12	特別会議棟パントリー地下ピット内	20	FPHD20V		1m3/P	温水(還)	○	2027.2	特別会議棟パントリー(還)
13	大ホールA地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示1
14	大ホールB地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示2
15	大ホールB地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示3
16	大ホールB地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示4
17	大ホールC地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示5
18	大ホールC地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示6
19	大ホールC地下ピット内	40	FMDS40-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	大ホール展示7
20	エントランス南口側地下ピット内	30	FMDS30-3 MG400TX-3		1m3/P	水道	○	2027.2	屋外展示用
21	ウェルカムコート前地下ピット内	25	FMDS25-3 MG700M-3	RM-09-93 -33306	1m3/P	水道	×	2027.2	エントランス展示用1 メーター:床面からの高さ約3.6m パルスカウンタ:地上高約4.0m
22	ウェルカムコート前地下ピット内	25	FMDS25-3 MG700M-3	RM-09-93 -33306	1m3/P	水道	×	2027.2	エントランス展示用2 メーター:床面からの高さ約3.6m パルスカウンタ:地上高約4.0m
23	ウェルカムコート前地下ピット内	25	FMDS25-3 MG700M-3	RM-09-93 -33306	1m3/P	水道	×	2027.2	エントランス展示用3 メーター:床面からの高さ約3.6m パルスカウンタ:地上高約4.0m
24	衛生機械室	75	FATW75-5 MG400TX-3		1m3/P	井水	○	2027.2	井水量
25	衛生機械室	50	FATW50-5 MG400TX-3		1m3/P	雑用水	○	2027.2	雑用水冷却塔補給水系統 メーター:床面からの高さ約6.6m